

地域と企業との連携による 災害に強いまちづくり

地域・企業連携南海トラフ地震減災対策事業活動報告書



愛媛県東予地方局

目 次

項 目

ページ

はじめに

①

1 防災・減災は『自助』からはじまる

②

2 地域で協力し助け合う『共助』の輪

④

3 災害に強いまちづくり応援協定

⑤

4 地域・企業連携南海トラフ地震減災対策事業

⑥

5 東予地域防災力向上応援事業所認証制度

⑧

災害に強いまちづくり応援協定（例）

⑨



（はじめに）

本県は、第二次産業が集積する東予地域、第三次産業が盛んな中予地域、そして、第一次産業が中心の南予地域と、圏域ごとに豊かな特色がありバランスの取れた産業構造になっています。

このうち、東予地域が中核をなす本県2次産業の製造品出荷額等は、四国全体の約半分を占めるなど地域経済の大きな基盤となっています。

東予地方局では、多くの企業が集積する管内の特性を踏まえて、地域住民の生命や財産、貴重な資源を守るため、地域と企業の連携による防災力の向上を目的とした「災害に強いまちづくり事業」を、平成21年度から実施しています。

また、事業の一環として、自治会や自主防災会等の地域と企業が「災害に強いまちづくり応援協定」を締結することを促進するなど、これまでに様々な防災・減災対策事業を実施してきました。

このような中、平成25年公表の「愛媛県地震被害想定調査」結果では、南海トラフ巨大地震が発生すると、管内でも震度6弱～7の強い揺れや津波・浸水による甚大な被害が発生することが想定されており、被害を最小限に抑えることが大きな課題となっています。

このため、平成27、28年度の2か年にわたり、地元企業と「災害に強いまちづくり応援協定」を締結した地域において、大規模災害への備えを地域でより確固たるものにするため「地域・企業連携南海トラフ地震減災対策事業」をモデル事業として実施しました。

今回の事業で実施した地域と企業との連携による取り組み事例等を、今後各地域で同様の取り組みを行うための参考となるよう事業活動報告書としてまとめました。

この報告書をご活用いただき、大規模災害への事前の備えとして、防災・減災に対する理解を一層深めていただきますとともに、地域と企業との連携による「共助」の輪が、今後も大きく広がっていくことを期待しています。

おわりになりましたが、この報告書作成に当たり、ご協力いただきました関係者、関係機関の皆様方に厚くお礼を申し上げます。

平成29年3月31日
愛媛県東予地方局

1 防災・減災は『自助』からはじまる

平成25年公表の「愛媛県地震被害想定調査」結果によると、南海トラフ巨大地震が発生した場合には、地理的要因等により地域ごとに被害の様相が異なります。

東予地域では

【震度】 最大震度7 / 臨海部、平野部を中心に広範囲で震度6弱以上

【津波浸水面積】 県内全体浸水面積の5割以上

【人的・建物被害】 県内の半数近くを占めるなど大きな被害が想定されています。

地震は、いつどこで発生するか分かりません。過去の大規模災害の教訓等から、一人ひとりが自分の身を自分で守る「自助」への取り組みはきわめて重要です。災害発生時にまずは自分自身が無事で、次の避難行動や他の人へ補助や協力ができる状態につなげるためにも、常日頃から防災に関する正しい知識を持ち「自助」の取り組みを、一人ひとり、できれば地域ぐるみで事前に繰り返し確認することが大切です。

(1) 地震発生前の備え

① 家具の固定やガラスの飛散防止対策等

- ・家具が倒れて来ない様に壁にネジ止めして固定する。
 - ・ガラスに飛散防止フィルムを貼る。
- などの対策は、災害への有効な備えとなります。

② 食料・水の備蓄や避難持出し袋の準備

- ・食料等の支援物資が届くまで、時間がかかることを想定し、食料・水の備蓄をしておく。(家庭用備蓄の目安は7日分以上、うち3日分は非常持出し分)
- ・懐中電灯・携帯ラジオ等の防災グッズ、大切な物を避難持ち出し袋に入れておく。

③ 危険箇所、避難所や家族の集合場所等の事前確認

- ・自分の生活圏内で、
どこにどのような「危険箇所」があり、
どこにどのような「避難場所」が指定されているか をあらかじめ確認しておく。
- ・災害発生後の家族全員の連絡方法(安否確認等)や集合場所を決めておきましょう。
また、家族で通勤や通学経路等を確認しておくことも大切です。

④ 緊急地震速報の活用

現在、緊急地震速報が発表されてから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から数十秒程度と短く、また予測される震度に誤差を伴うこともあります。



しかし、たとえ数秒であっても、事前に地震に備えることができることは、被害の軽減につながります。テレビやラジオの緊急地震速報だけではなく、携帯電話等で緊急地震速報を利用できるようにしておくことも、事前の備えとなります。

⑤ 訓練に参加する

シェイクアウト訓練をはじめとした各種防災訓練に参加することにより、訓練時に実際に体験した事や訓練により得たイメージなどは、いざという時に役に立ちます。



(2) 地震が発生したら

① 自分の身を守る行動をとる

地震が発生した時、机があればその下に逃げ込み脚部分を押さえるなど、自分がどこでどのような状況下にあるかを、すばやく見極めて自らの命を守る行動をとることが大切です。



② 被害の拡大を防ぐ行動をとる

揺れが収まり安全を確認した後は、火元の確認をし、津波や火災等の情報を正確に得て判断し、避難するなど身の安全を優先した行動をとり、2次災害の防止にも努める。

- ・避難をする場合 / 火の始末やガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る。
- ・車を離れる場合 / 交通の混乱が生じないよう、車の鍵はつけたまま、道路端に停車する。

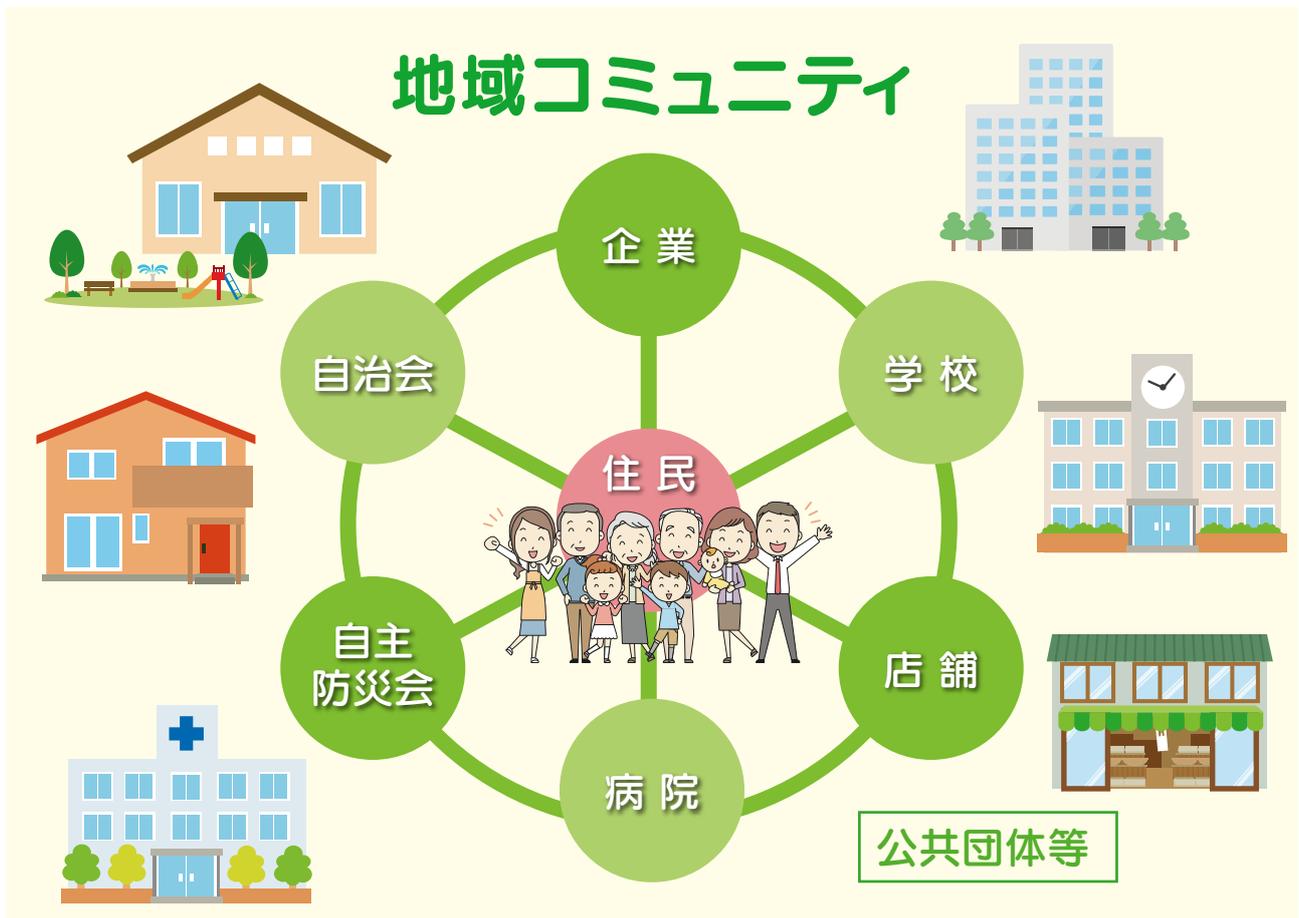
2 地域で協力し助け合う『共助』の輪

先にも触れたとおり、大きな災害が発生した時に一番大切なことは、住民一人ひとりが自分の身を自分が守る「自助」で備えることですが、地域の方が互いに協力し、助け合い支え合う「共助」も大切です。

特に「南海トラフ地震」等の大規模な広域災害が発生した場合には、消防、警察、自衛隊等の公的な支援「公助」が、被災地域の全ての現場に向かうことはできません。こうした時に最も頼りとなるのが、被災地域周辺の地域住民や企業等による「共助」の力です。地域での「共助」は、被害の拡大を防ぐとともに、減少させるのに大変有効な力となります。

しかし、現状としては、人口の都市集中、生活圏の拡大や家族形態の変化等により、地域における人のつながりも希薄になりつつあります。だからこそ、日頃から地域の方や企業ともお付き合いし、顔の見える関係を築いておくことが大切です。いざという時に、自然と地域の方々が協力し助け合えるような地域コミュニティづくりが求められています。

こうした状況の中、住民、自治会、自主防災会、企業(事業所・団体)、学校、病院等の地域コミュニティの構成員が、地域の防災活動に関わり、地域の実情や人を知り、地域の防災・減災を我が事として捉えて、連携することにより、「共助」の輪を広げていくことが非常に重要です。



3 災害に強いまちづくり応援協定

地域コミュニティの一員である企業は、多くは平日に事業活動を行い、多数の人が仕事に従事しています。企業が、地域の防災・減災活動に地域コミュニティの一員として参加すれば、組織力や専門的な能力等を有することから地域の防災・減災力を強力に向上させる重要な存在となります。



東予地方局管内は、多数の企業が集積して活発な生産活動を展開しており、管内の各地域コミュニティに所在する企業数は多く、こうした特性を踏まえて、東予地方局では、地域住民の生命や財産、貴重な資源を守るため、平成21年度から地域と企業との連携による災害に強いまちづくりを推進し、地域コミュニティにおける「共助」の強化を図り、地域自らが災害に強いまちづくりに取り組んでいただけるよう、防災・減災対策事業を実施しています。

この事業の一環として、地域と地元企業が協力して、地域コミュニティの絆を強め、

① 定期的に地域と企業が合同防災訓練を計画・実施

⇒ ② 地域の防災対策や被害の軽減を図る

⇒ ③ (災害発生時)地元自治会等から企業が要請を受けて救出等の応援活動などを主な活動内容とした「災害に強いまちづくり応援協定」の促進に、市町の協力を得て、重点的に取り組んでいます。

現在、「災害に強いまちづくり応援協定」は4地域で締結されており、応援協定を締結した地域では、地域と企業が互いに協力し、定期的に合同防災訓練を計画・実施する等して、コミュニティ内の絆を強め、災害に強いまちづくりに積極的に取り組んでいただいています。

【「災害に強いまちづくり応援協定」締結状況 / 平成29年3月現在】

締結日	締結者	
	(企業)	(地域)
H23. 3.19	今治造船(株)西条工場	西条市玉津校区連合自治会
H25. 3.21	太陽石油(株)四国事業所 日本地下石油備蓄(株)菊間事業所	今治市菊間地区自治会
H25.12.12	丸住製紙(株)	四国中央市井地町自主防災会
H27. 8. 5	フジボウ愛媛(株)壬生川工場	西条市大新田自主防災会

※ 応援協定締結事業所の事業統廃合で、事業所閉鎖により1協定解消(平成27年9月)

4 地域・企業連携南海トラフ地震減災対策事業

東予地方局では、地元企業と「災害に強いまちづくり応援協定」を締結している地域において、学識経験者をアドバイザーとして迎え、地域と企業が連携して実効性のある訓練や活動を実施し、大規模地震等への備えをより強固なものとするを目的として、平成27年度から2か年で、「地域・企業連携南海トラフ地震減災対策事業」を実施しました。



(1) 平成27年度 事業実施状況

① 西条市

応援協定締結者 / (企業)今治造船(株)西条工場 (地域)玉津校区連合自治会

実施日 / 平成27年7月26日、11月4日

実施内容 / 避難訓練、土のう作成訓練、初期消火訓練、防災講演会 等



② 今治市

応援協定締結者 / (企業)太陽石油(株)四国事業所、日本地下石油備蓄(株)菊間事業所
(地域)菊間地区自治会

実施日 / 平成27年9月17日、11月15日、12月9日

実施内容 / 避難訓練、救命搬送訓練、初期消火訓練、防災講演会 等



(2) 平成28年度 事業実施状況



① 四国中央市 井地町・丸住製紙(株)合同自主防災訓練

応援協定締結者 / (企業)丸住製紙(株) (地域)井地町自主防災会

実施日 / 平成28年9月11日

実施内容 / 避難訓練、煙体験訓練、救命搬送訓練、防災講演会 等



② 西条市 大新田・フジボウ愛媛(株)合同自主防災訓練

応援協定締結者 / (企業)フジボウ愛媛(株)壬生川工場 (地域)大新田自主防災会

実施日 / 平成29年1月28日

実施内容 / 避難訓練、災害時用資機材講習会、防災講演会 等



このように、応援協定を締結している4地域において、県と市が支援し、地区住民の方と協定締結企業が、より実効性のある訓練や活動を協働して計画・実施しました。

今後も継続して、地域と企業で地域の特性にあった訓練等を計画・実施していただき、より顔の見える関係を築きながら、地域と企業とが自然と協力して助け合える「災害に強いまちづくり」をお願いします。



5 東予地域防災力向上応援事業所認証制度

東予地方局では、「災害に強いまちづくり応援協定」に基づき、管内において地域と連携して想定される被害の特性にあった効果的な訓練(活動)等を実施し、地域の災害による被害の防止及び軽減に積極的に協力している事業所等を、「東予地域防災力向上応援事業所」として認証する制度を設けております。

これまでに、地域防災力の充実強化に貢献された、次の5事業所を認証しています。

平成27年度 認証事業所

今治造船株式会社西条工場



太陽石油株式会社四国事業所



日本地下石油備蓄株式会社菊間事業所



平成28年度 認証事業所

丸住製紙株式会社



フジボウ愛媛株式会社壬生川工場



災害に強いまちづくり応援協定（例）

（目的）

第1条 この協定は、〇〇株式会社（以下「甲」という。）と〇〇市〇〇自主防災会（以下「乙」という。）とが「共助」の精神に基づき、協力して災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的とする。

（活動及び応援の要請）

第2条 乙の地域に大規模災害（風水害、地震・津波災害等）が発生した場合、乙は甲に連絡し応援を要請することができるものとする。

また、甲は乙からの要請又は自主的判断により、防災活動を行うものとする。

なお、甲に特段の事情が生じた場合には、この限りではない。

（応援の内容）

第3条 応援の内容は次のとおりとする。

(1) 負傷者の救出、救護に係る応援活動

(2) 災害復旧ボランティア活動

2 応援の実施は別紙「応援に関する詳細」によるものとする。

※別紙は本冊子に掲載していません。

（経費の負担）

第4条 甲が行う活動に伴う経費は、甲の負担とする。

（訓練等）

第5条 甲及び乙は、第1条の目的を達成するため、年に1回以上、合同で防災訓練等（情報伝達訓練及び研修会なども含む。）を行うこととし、訓練等の内容は、甲、乙協議のうえ調整するものとする。

また、乙は、その内容等について、愛媛県東予地方局及び〇〇市へ連絡するものとする。

（協議）

第6条 この協定に定めのない事項については、その都度、甲、乙協議して定めるものとする。

また、協議にあたっては、甲又は乙は必要に応じて、愛媛県東予地方局及び〇〇市に調整を求めることができるものとする。

（有効期間）

第7条 この協定は、協定締結の日から、その効力を有するものとし、甲又は乙が文書をもって協定の終了を通知しない限り、その効力を有する。

（協定書の保管）

第8条 この協定を証するため、この正本4通を作成し、甲、乙、愛媛県東予地方局及び〇〇市が署名捺印のうえ、それぞれ1通を保管するものとする。

平成 年 月 日

甲

乙

立会人 (愛媛県東予地方局長)

立会人 (〇〇市長)



発 行

愛媛県東予地方局 総務県民課防災対策室

〒793-0042 愛媛県西条市喜多川796番地の1

TEL 0897-56-1300 (代表) 内線 213